

題名：横浜労災病院での入院時支援における薬剤師の介入実態調査

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	横浜労災病院での入院時支援における薬剤師の介入実態調査 (-)
当院の研究責任者 (所属)	山田 裕大 (薬剤部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院では 2020 年 12 月に患者サポートセンターが設立されました。当センターでは、薬剤師は入院される患者さんの常用薬を把握し、入院前から休薬管理が必要な薬剤がないか、適切に休薬が行われているかを確認しています。常用薬の把握、休薬管理を担うようになってから数年が経過し、その間、多くの患者さんの入院支援を行って参りました。本研究ではその実態を精査し、今後入院される患者さんの更なる利益向上に繋げることを目的としています。
研究の方法 (利用する試料・情報)	2022 年 5 月から 2023 年 12 月までに当院で入院時支援として、患者サポートセンターを受診した患者さんのうち、薬剤師が介入した患者さんを対象とします。年齢、性別、診療科、入院目的、常用薬、常用薬の休薬指示の有無、疑義照会の有無、疑義照会の結果について電子カルテより後方視的に調査します。 研究実施期間：2024 年 6 月～2024 年 7 月
利用する試料・情報の 該当期間	2022 年 5 月～2023 年 12 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：山田 裕大（所属：薬剤部）
備考	